



# 「誰か」のこと じゃない。

## 皆さん、一緒に考えましょう

新型コロナウイルスの感染は、誰にでもありうることです。これまで以上に、一人ひとりの意識や行動が大切であることを誰もが理解し、感染を広げないよう、皆さん一人ひとりができる対策をしていることでしょうか。しかし、感染への不安は簡単に消えるものではありません。今、改めて様々な「人」との関わり方について考えてみませんか。

### マスクをしていない人のこと

「みんなマスクをしているのに、なぜしないんだ！」と思うことがあるかもしれません。

もしかしたら、何かの病気や障害の特性があって、マスクができないのかもしれません。また、聴覚障害者や手話通訳者、要約筆記者は相手の口元や表情を見てコミュニケーションをとるため、その時だけマスクを外したり、フェイスシールドを使用することがあります。「マスクをしていないのは、何か事情があるのかも」と想像することが大切ではないでしょうか。

### ワクチンを打たない（打てない）人のこと

ワクチン接種は任意です。接種を望まない人や接種したくてもアレルギーなどの事情で接種できない人もいます。未接種の人に接種を強制したり、差別的な態度をとってしまわないように、理解を広げていきましょう。

## シトラスリボンプロジェクトをご存じですか？

たとえ新型コロナウイルス感染症に感染しても、誰もが地域で笑顔の暮らしを取り戻せる社会に。そんな願いから生まれたのが「シトラスリボンプロジェクト」です。リボンはコロナ差別に反対する意思を表します。

感染した人や医療従事者が、家庭や職場、学校などに復帰した際、「おかえり」と受け入れられる雰囲気をつくり、誰もが傷つかないやさしい社会をめざしましょう。



**12月3日(金)～9日(木)は  
障害者週間**  
「だれもが尊厳をもち 自立を支え合い ともに生きる社会」をめざしています。障害者を取り巻く課題についての関心と理解を深め、障害者が社会、経済、文化、その他あらゆる分野に積極的に参加できる「共生社会」づくりのため、私たちに何ができるのか、この機会に考えましょう。

●**ふれあい作品展**  
市内の支援学級・支援学校の児童・生徒や障害者の作品を展示します。入場無料です。

日時 12月8日(水)～10日(金)午

前9時半～午後5時(最終日は午後2時まで)  
場所 マドカホール(荒木町1丁目)  
問合 障害者支援課障害福祉担当(☎423・9446)

「絶対に取り戻す!」  
12月10日(金)～16日(木)は  
北朝鮮人権侵害問題啓発週間

一日も早い拉致問題の解決には「絶対に取り戻す」という強い思いが必要です。拉致問題や北朝鮮当局による人権侵害問題への関心と認識を深めましょう。

問合 岸和田警察署(☎439・1234)

●**映画「めぐみ」上映会**  
拉致被害者の一日も早い帰国をめざし、拉致問題に関する府民の認識と理解を深めるため、アニメ映画「めぐみ」上映会などを開催します。詳しくは府ホームページをご覧ください。

日時 1月30日(日)午後1時半～4時(開場は午後1時)  
場所 ピースおおさか(大阪府中央区)  
定員 100人(申込先着順)  
申込・問合 1月13日(木)までに府人権局人権企画課(☎06・6210・9280  
☎06・6210・9286)へ



言葉を使って想いを伝えること、「会話」について改めて考えてみましょう。

### 伝え方・伝わり方

耳の聞こえない人・聞こえにくい人とコミュニケーションを取る時、皆さんはどんな工夫をしていますか。「口元で大きな声で話す」「口を大きく開けてゆっくりと話す(口話)」「身ぶりや表情を付けて話す」「筆談」「手話」など、いろいろな方法が考えられます。

どれも大切なコミュニケーションの方法ですが、聞こえない人・聞こえにくい人の全員がこれらの方法を全部使えるわけではないかもしれません。手話がわからない人もいれば、筆談が苦手な人もいます。

また、簡単な話なら口話でも大丈夫だけれど、複雑な話になると要約筆記者や手話通訳者と一緒のほうがいいという人もいます。

### マスクが普及した今

新型コロナウイルスの感染予防でマスクの着用が進むと、口元が見えなくなり、口

話によるコミュニケーションが難しくなりました。そして、マスクの着用は、手話を使う人たちにも大きな影響を与えています。なぜでしょうか。

手話は、手だけでなく表情や口の動きを含めて成り立つ「言語」です。マスクを着用することで、互いの表情がわからず、コミュニケーションが難しくなり、手話を使う人たちに戸惑いが広がっています。

### 理解と工夫

最近、首相や知事の会見では感染予防対策に工夫をしてマスクを外すようになりましたが、地域での日常会話ではどうでしょうか。マスクを外して話す人を見つけると、つい表情が険しくなっていないでしょうか。

感染予防対策とコミュニケーションはどちらも大切なことです。相手の気持ちや事情を理解し、配慮しながら、お互いの想いが通じ合う方法を考えてみませんか。

障害者支援課  
人権・男女共同参画課



「手話」という、単語の手話表現です。